

点検結果報告書（平成22年度実績版）の作成の基本的考え方

1 点検結果報告書の経緯・趣旨

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」）は、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」（以下「5か年計画」）に位置付けられている12の特別対策事業について、実施状況を点検・評価し、その結果を県民に分かりやすく情報提供する役割を担っている。

そこで、第1期の県民会議委員（任期：平成19～20年度）は、平成21年3月に当該期間を総括する趣旨で、各特別対策事業とその最終目標である「良質な水の安定的確保」という効果を評価する道筋を「各事業の評価の流れ図（構造図）」として整理して、平成19年度の事業実績を中心に点検結果報告書（以下「19年度実績版」）を作成した。

また、第2期の県民会議委員（任期：平成21～23年度）は、平成22年2月に、20年度の事業実績の更新を中心に中間の報告書（以下「20年度実績版」）を、平成22年12月に、21年度の事業実績の更新を中心に中間の報告書（以下「21年度実績版」）を作成した。

《県民会議の所掌事項》

- (1) 水源環境保全・再生施策の評価及び推進に関すること。
- (2) 水源環境保全・再生施策の県民への情報提供に関すること。

2 今回の点検結果報告書（平成22年度実績版）の方針

今回の点検結果報告書は、前回の21年度実績版と同様に、第2期の県民会議委員の任期（平成21～23年度）の途中であるため、22年度の事業実績の更新を中心に、中間の報告書として作成する。

(1) 平成22年度の事業実施状況等の記載

平成22年度の事業実施状況、進捗状況、予算執行状況等を記載する。

(2) 平成22年度の事業に係るモニタリング調査等の記載

平成22年度の事業に係るモニタリング調査実施状況、モニタリング調査結果を記載する。

(3) 事業モニター結果の記載

平成22年度中に事業モニターは、特別対策事業（直接的な効果が見込まれる9事業）を対象に4回実施された。その結果をニュースレター「しずくちゃん便り」から記載する。

(4) 県民フォーラム意見の記載

平成22年度中に県民フォーラムは、4回実施された。その意見を「第9回・第10回・第11回・第12回県民フォーラム意見報告書」から記載する。

(5) 総括（評価）

上記の①事業進捗状況、②モニタリング調査結果、③事業モニター結果、④県民フォーラム意見の4つの視点から評価を行い、総括コメントを作成し、点検する。